

ICT 絆プロジェクト事業の実践校における活用事例紹介

—iPad の有効活用 / 一人一台の iPad で基礎・基本の定着—

ライズ株式会社 文教グループ 坂谷 泰幸

<http://www.education.jp/>

キーワード：ICT 絆プロジェクト、iPad、教科学習、確かな学力の向上

1. はじめに

2011年3月に教育の情報化を目的として「ICT 絆プロジェクト」事業が実施され、全国で24の自治体にタブレット PC など最先端の機器が整備されました。

絆プロジェクト採択校では、児童生徒と教員それぞれに1台ずつ情報機器が配備され、指導や学習のツールとして利活用されています。

本事業において、弊社の商品は、全24自治体中11自治体（19校）に採用頂きました。これらの自治体の中には、端末として iPad を採用した自治体もございます。

ここでは、iPad での e ライブラリ活用事例を中心にご紹介いたします。

2. ライズ e ライブラリアドバンス

(1) 概要

豊富な学習用コンテンツを、インターネット配信するサービスです。

■基本サービス

- ・小中約58,000問のドリル教材を収録
- ・個別指導に最適な理解度別出題機能
- ・各学年、教科、単元、教科書に対応
- ・「りれき管理機能」で振り返り学習をサポート
- ・各社の教科書ページから教材検索が可能
- ・電子黒板を効果的に活かす提示教材も多数収録
- ・「ステープラ」でオリジナルの提示教材が作成可能
- ・「連絡メール」「家庭学習」の機能を標準搭載

■オプションコンテンツ

- ・図鑑、百科事典、写真資料集
- ・プリント教材（単元別・高校入試過去問 DB 等）

(2) iPad への対応 (iPad 版 e ライブラリ)

e ライブラリのドリル学習機能部分を iPad で利用することができます。

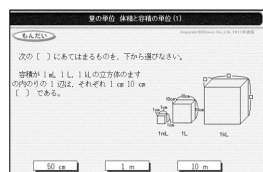


図1 ドリル画面

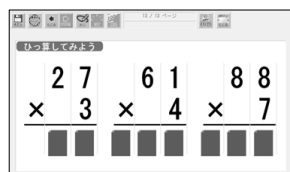


図2 ステープラ

3. 活用事例

(1) 学校紹介 ～岡山県新見市立高尾小学校～

新見市立高尾小学校は、岡山県北西部にある新見市のほぼ中央に位置し、緩やかな山間を流れる明智川に沿って家並みが続き、ゆったりとした雰囲気が学区を

包んでいます。

「元気な学校 めくもりのある学校」を目指す学校像として掲げ、研究課題として、「外国語活動の研究」と「確かな学力の向上」に取り組んでいます。

学校規模

児童数74人。教員数10人。全6学級（単学級）。

(2) 整備状況

- ・iPad（全児童・全教員に1台ずつ）
- ・インタラクティブ・ホワイトボード（各教室）
- ・タブレット PC（各教室）

(3) 取り組み内容

同校では、学力作りのために「iPad 版 e ライブラリ」を取り入れています。主に朝学習の時間やテスト前に、算数を中心としたドリル学習に取り組んでいます。その他、復習単元での利用も検討されています。

朝学習では曜日ごとに学習テーマを設けており、「ICT 活用」をテーマにした「スイスイ使おう iPad! 水曜日」には、特にドリル教材を積極的に利用していますが、1年生から6年生まで、「iPad のドリル学習は楽しい!」と意欲的に学習しているそうです。先生方には、一から教材を準備・作成する手間がなく、授業に取り入れやすいと好評です。

同校の延堂校長は、「現場では教材を準備する『ひと手間』よりも、『児童に向き合う時間』を大切にします。その点、e ライブラリは教材が揃っていて、すぐに学習を始められるので、先生方も導入しやすいようです」と仰っています。



写真1 iPad でドリル学習 写真2 ドリル学習の様子

4. 今後の展開

『公共 Wi-Fi で家庭学習』

新見市では、公民館や図書館などの公共施設で、Wi-Fi を利用できる環境を整えており、この環境を活かした「公共施設での iPad 学習」の構想を持っています。また、それに先駆け、自宅に iPad を持ち帰らせる「iPad で家庭学習」という取り組みを推進する予定です。

ライズ株式会社は、学校での日常的な活用に加え、このような先進的な取り組みにもお応えできるサービスを提供して参ります。